

生活習慣病予防専門委員会

目 次

生活習慣病予防専門委員会の報告

はじめに

I. 県民健康意識調査

II. 健康ひろしま21(見直し版)骨子

生活習慣病予防専門委員会

(平成 18 年度)

生活習慣病予防専門委員会の報告

広島県地域保健対策協議会生活習慣病予防専門委員会

委員長 烏帽子田 彰

はじめに

県が平成 18 年度に「健康ひろしま 21」の中間見直しを行う方針であったことから、生活習慣病予防専門委員会は、平成 17 年度に「健康ひろしま 21」の見直し方針を検討し、平成 18 年度には、目標項目及び指標を検討する予定としていた。

しかしながら、県の目標項目及び指標の設定にあたり勘案すべき国の参酌標準の提示が平成 18 年度末となったため、平成 18 年度の県の計画見直し事務は、県民健康意識調査の実施と、「健康ひろしま 21 (見直し版) 骨子」の作成にとどまり、委員会による目標項目や指標の検討には至らなかった。

県民健康意識調査と「健康ひろしま 21 (見直し版) 骨子」の状況は次のとおりである。

I. 県民健康意識調査

生活習慣病予防専門委員会では、調査地区について、都市部、山間部、島嶼部を選定し、調査規模としては、5,000 人 (最小限度 N 数) を目安とするよう提言したところである。

県は、委員会の提言を踏まえ、層化無作為により都市部、山間部、島嶼部を含む 35 地区を指定し、推

定世帯数 1,400 世帯、推定世帯員数 3,827 人を対象として調査を実施した。

調査の概要は表 1 のとおりである。

II. 健康ひろしま 21 (見直し版) 骨子

生活習慣病予防専門委員会では、生活習慣病予防の発症・重症化予防に向けた目標項目の精選、関係者の役割分担の明示、各主体の目標達成度評価、生活習慣病予防のための保健指導等の必要性について検討したところである。

県は、委員会の検討結果を踏まえて、計画骨子を作成した。

骨子の概要は、次のとおりである。

(1) 重点目標

- ・子どもの頃からの望ましい生活習慣の確立
- ・生活習慣病のリスクファクターの軽減

(2) 目標項目の体系

- ・生活習慣病の発症予防、重症化防止の流れに沿って「日頃の生活習慣」、「境界領域期・有病期」、「重症化」、「死亡」の各段階に整理する。

(3) 行動目標

- ・予防の重要性に対する理解の促進を図る健康

表 1 県民健康意識調査の概要

種類	調査項目	調査協力者
生活習慣調査 ・質問	①栄養・食生活について ②運動・休養について ③喫煙について ④飲酒について ⑤健診受診状況について	対象者 3,288 人 (3,827 人×85.92%…15 歳以上) 協力者数 2,031 人 協力者率 61.8%
身体状況調査 ・計測 ・採血 ・質問	①身長計測、体重測定、腹囲測定、血圧測定 ②血液検査 (HDL-コレステロール、ヘモグロビン A1c) ③服薬状況 (血圧、血糖、コレステロールを下げる薬、インシュリン注射)、運動習慣の有無	対象者 3,091 人 (3,827 人×80.77%…20 歳以上) 協力者数 974 人 協力者率 31.5%

づくりの県民運動化

- 生活習慣病予防の観点から食育の推進
- 糖尿病等の予備群を減少させる効果的な保健指導の徹底
- 効果的，効率的な施策展開を図るための実態把握と評価

(4) 領域別の課題への取組み

- 領域別に各主体の役割を明確にした取組みを明らかにする。
⇒ 「栄養・食生活」, 「身体活動・運動」, 「休養・こころの健康づくり」, 「たばこ」, 「アルコール」, 「歯・口の健康」

広島県地域保健対策協議会生活習慣病予防専門委員会

委員長	烏帽子田彰	広島大学大学院医歯薬学総合研究科
委員	石本 勝三	広島県歯科医師会
	河良 俊昭	広島県福祉保健部保健医療局
	新宮 哲司	広島大学大学院医歯薬学総合研究科
	高田 耕基	広島鉄道病院
	中本 稔	広島市東区厚生部
	名越 雅彦	広島県保健所長会
	信國 好俊	広島大学原爆放射線医科学研究所
	馬場 年之	広島県福祉保健部総務管理局健康増進・歯科保健室
	濱崎 雄司	広島県福祉保健部総務管理局健康増進・歯科保健室
	堀江 正憲	広島県医師会